

平成 28 年 11 月 28 日

## 消費者動向調査 No.119 「冬のボーナス使いみち調査」

当社の子会社である西日本シティ銀行（頭取 谷川 浩道）は、本日、「消費者動向調査 No.119 『冬のボーナス使いみち調査』」を公表しましたので、お知らせします。

詳細は、別紙をご参照ください。

以 上



平成 28 年 11 月 28 日

### 消費者動向調査 No.119 「冬のボーナス使いみち調査」

西日本シティ銀行（頭取 谷川 浩道）は、消費者動向調査を定期的に行っています。今般、NCB リサーチ&コンサルティング調査部と共同で「冬のボーナス使いみち調査」を実施し、調査結果がまとまりましたので、概要をお知らせします。

#### 記

調査時期：平成 28 年 10 月  
調査対象：福岡県内のボーナスがある家庭の女性 500 人  
（うち回答者 491 人、回答率 98.2%）

#### 調査結果要約

- ◆ **今年の冬のボーナス、前年冬と比較して「多くなる」は 5.6 ポイント減少。**  
前年冬よりも、ボーナスが「多くなる」は 5.6 ポイント減少し 26.2%となった。「少なくなる」は 1.4 ポイント増加し 8.8%。  
(調査結果本文 2P)
- ◆ **冬のボーナスの使いみち予定、1 位は「貯蓄」で 58.7%。2 位は「旅行・レジャー」で 40.3%。**  
冬のボーナス使いみち予定 1 位の「貯蓄」は 58.7%で、前年冬の 55.7%より 3.0 ポイント増加した。2 位の「旅行・レジャー」は 0.8 ポイント減少して 40.3%。  
(調査結果本文 3P)
- ◆ **ボーナスを貯蓄・運用する目的、1 位は「将来の生活費補てんのため」で 43.4%。2 位は「将来の教育費のため」で 36.0%。**  
貯蓄の目的は、引き続き将来に対する備えが上位を占めている。  
(調査結果本文 4P)
- ◆ **冬のボーナスを貯蓄・運用する場合の考えは、「元本の安全性を重視したい」が 56.5%で 1 位。**  
景気は穏やかな回復基調にあるものの、安全性を重視する割合が引き続き高水準。  
(調査結果本文 5P)
- ◆ **関心がある金融商品、1 位は「預貯金」で 77.0%。**  
1 位の「預貯金」への関心は 77.0%、2 位の「保険・共済」は 39.5%。  
(調査結果本文 6P)
- ◆ **冬のボーナス、自由に使える金額は、前年冬に比べて夫は 7 千円ダウン。妻は 4 千円ダウン。**  
ボーナスが「多くなる」と予想する割合が減少し、「自由に使える金額」は前年冬から夫・妻ともに減少した。  
(調査結果本文 7P)

調査結果本文は[こちら](#)

この調査に関するお問い合わせ先  
西日本シティ銀行 広報文化部 本郷・長谷川 TEL 092-461-1869  
NCB リサーチ&コンサルティング 調査部 原 TEL 092-476-3051

※当調査は情報提供を目的として作成されたものであり、その正確性・確実性を保証するものではありません。